

謹賀新年

エコパーク通信

平成27年度1月号



万両



松



ストケシア

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

私たち家族は発足当初から、吉田町より御前崎エコクラブの活動を応援しています。

文科省主催の「科学の祭典」では里海・里山の自然体験教室を行いました。また、明日の日本を創る協会の生活学校とタイアップした環境づくりでは、「エコビンゴ」「食品ロス見直し」「栄養料理教室」と関わり指導しました。エコパークに寄贈した植物の中の「セローム」は2日間しか咲かない珍しい花なので、それは多肉植物の人気もの「美空ホコ」と肩を並べる人気で写真愛好家の人達がYouTubeやフェイスブックにのせ、情報発信の源です。香りの高い「ドラセナ」「柚子」、紅葉する「コバノズイナ」又は「フジバカマ」等も蝶や鳥たちで賑わうようになりました。

夫の協力による砂利やテストピースは安心、安全の公園づくりのお助け資材です。又、娘たちは7,000坪のエコパークの四季折々の写真を撮り、インターネットのアプリ(TOROT)を利用し、フォトブックにしました。

御前崎を訪れた方が「こんなに素晴らしい所があるなんて」と言って下さったり、園児や小学生が「またエコパークに行きたい」との希望に、先生方の協力でバスを手配でき、元気な声がかかるようになりました。会員の方々の苦勞が、明るく暖かなエコパークという形となり、人々の交流を豊かに育んでくれるのだと思います。皆さんもエコパークでいろいろな「声」を聞いてみませんか。

飯田 香



御前崎エコクラブ会長 山本 貴美枝